

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2007年第24週
(6月11日～6月17日)

- * 2007年6月20日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「ジアルジア症」も掲載しています。

2007年6月21日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 患者報告数 2007年24週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ベスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	63	68	64	54	658	222	3532
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三類	コレラ		1			2		8
	細菌性赤痢	2		4		34	20	238
	腸管出血性大腸菌感染症	2	55	115	13	202	69	769
	腸チフス	1	1			4		16
	パラチフス					3		7
四類	E型肝炎					1	1	29
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		2			14		81
	エキノкокクス症					2		7
	黄熱							
	オウム病					1	1	12
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2	1	79
	デング熱		1	1		3		24
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ #							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	9
	日本脳炎							1
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							2
	マラリア	1	1		1	11	3	21
	野兔病							
ライム病						1	1	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症		2		1	12	13	200	
レプトスピラ症					2		3	
ロッキー山紅斑熱								

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	6	5	4	4	72	16	343
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		2			16	3	85
	急性脳炎 **				1	6	1	111
	クリプトスポリジウム症							4
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	7	3	75
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					3		48
	後天性免疫不全症候群	18	15	9	8	222	13	615
	ジアルジア症					7		20
	髄膜炎菌性髄膜炎	1				1		10
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	4	3	3	59	9	257
	破傷風						2	36
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	8	2	34	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2007/6/20集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

2007年14週集計分より「高病原性鳥インフルエンザ」から「鳥インフルエンザ」に変更

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 54件

肺結核40件、その他14件で、推定感染地は国内38件、国外7件(韓国1件、フィリピン1件、ミャンマー1件、感染地不詳4件)であった。年齢群は、10歳未満1件、10歳代2件、20歳代8件、30歳代10件、40歳代8件、50歳代5件、60歳代7件、70歳代9件、80歳代5件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 13件

患者8件、無症状病原体保有者5件で、血清型・毒素型はO157 VT2 10件、O157 VT1・VT2 2件、O1 VT2 1件であった。年齢群は、10歳未満1件、10歳代4件、20歳代3件、30歳代1件、40歳代1件、60歳代1件、70歳代1件であった。22週から継続して報告されていた、西東京市内の学校に関連したO157 VT2の報告は、今週は8件と推定された。

〈四類感染症〉

マラリア 1件

熱帯熱マラリアで、推定感染地域はパプアニューギニアであった。

レジオネラ症 1件

肺炎型で、感染経路は不明。患者は80歳代であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 4件

腸管アメーバ症2件、腸管外アメーバ症2件で、推定感染地は国内3件、国外(感染地不明)1件、推定感染経路は異性間性的接触1件、飲食物による経口感染1件、不明2件であった。

急性脳炎 1件

10歳代で、病原体は不明である。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件

孤発性プリオン病古典型であった。

後天性免疫不全症候群 8件

無症候キャリア7件、AIDS 1件であった。推定感染地はいずれも国内で、推定感染経路はいずれも同性間性的接触であった。

梅毒 3件

早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症候梅毒2件で、推定感染経路は性的接触1件、不明2件であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件

VanCで、血液から検出された。

五類定点把握対象疾患 患者報告数 2007年24週

疾病名	2007年				4週合計	年累計
	21週	22週	23週	24週		
RSウイルス感染症	3	8	12	5	28	495
インフルエンザ	37	10	8	4	59	43,762
咽頭結膜熱	99	121	141	148	509	1,334
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	415	399	388	376	1,578	6,494
感染性胃腸炎	930	952	1,030	980	3,892	19,566
水痘	283	261	246	312	1,102	5,482
手足口病	21	44	44	52	161	423
伝染性紅斑	109	74	81	100	364	1,808
突発性発しん	103	120	126	111	460	1,976
百日咳	1	1	2	0	4	24
風しん	5	0	1	1	7	24
ヘルパンギーナ	43	35	67	70	215	354
麻しん(成人麻しんを除く)	28	22	13	17	80	225
流行性耳下腺炎	37	44	57	59	197	915
不明発しん症	13	17	26	18	74	263
MCLS	3	7	4	2	16	58
急性出血性結膜炎	2	3	4	2	11	22
流行性角結膜炎	24	23	28	24	99	412
細菌性髄膜炎	4	0	0	0	4	12
無菌性髄膜炎	1	0	0	1	2	12
マイコプラズマ肺炎	6	8	10	2	26	79
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	1	1	0	2	4
成人麻しん	26	23	17	16	82	199
2007/6/20集計						

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・麻しんおよび成人麻しんの定点当たり報告数は、いずれも過去5年平均よりも高いレベルで推移している。麻しんは3週連続して減少した後に微増しており、成人麻しんは前週からの減少幅は小さいが、3週連続して減少している。
- ・咽頭結膜熱の定点当たり報告数は4週連続して増加した。過去10年間で最大規模の流行だった2006年シーズンよりは、やや低いレベルで推移している。
- ・手足口病の定点当たり報告数は増加傾向にあるが、過去5年平均と比較するとなだらかな立ち上がりで、2006年シーズンに類似している。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加傾向だが、過去5年平均および2006年シーズンよりもなだらかな立ち上がりである。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は23週まで5週連続で増加したが、24週は大幅に低下し、過去5年平均と同レベルになった。

(定点医療機関からのコメント)

目黒区保健所管内定点医療機関

- ・流行性角結膜炎；保育園児と母親、職員

北区保健所管内定点医療機関

- ・例年と比べヘルパンギーナが異常に少ない。

多摩立川保健所管内定点医療機関

- ・麻しん；武蔵村山市医師会より報告
 - ・6/12 15歳男子。11歳男子（父から感染、麻しんワクチン未接種）
 - ・6/13 12歳男子（麻しんワクチン接種済）
 - ・6/14 10歳男子
 - ・6/15 13歳女子（麻しんワクチン未接種）

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2007年24週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月	1				8	5			4
～11か月			5	4	55	16	5		47
1歳	3		27	8	99	59	15	5	52
2歳			18	21	91	43	4	4	5
3歳			24	26	85	55	7	22	2
4歳		1	23	55	94	39	10	14	1
5歳			18	69	68	38	2	24	
6歳			10	54	61	25	2	7	
7歳			5	25	59	13	2	11	
8歳			4	22	59	7	1	3	
9歳			3	23	47	2	1	3	
10～14歳		1	8	35	106	7	1	4	
15～19歳		1		5	15	1			
20～29歳	1		3	29	133	2	2	3	
30～39歳		1							
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	5	4	148	376	980	312	52	100	111
先週比	-7	-4	7	-10	-49	66	8	19	-15

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月			1				1	1	
～11か月			1	3			3	4	1
1歳			16	3	5		2	3	
2歳		1	16		5			4	1
3歳			13		6		1	1	
4歳			9	1	6		1	1	
5歳			6		5				
6歳			2		7		1		
7歳			1		9			2	
8歳					4				
9歳				1	4				
10～14歳			1	6	6	1		2	
15～19歳				1			1		
20～29歳			4	2	2		4		
30～39歳							5		
40～49歳							2		
50～59歳						1	2		
60～69歳							1		
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	1	70	17	59	2	24	18	2
先週比	-2	0	6	4	2	-2	-4	-8	-2

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2007年24週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					2	4			1	
中央区				3	5	6		1		
みなと	1		5	27	49	8	2	9	5	
新宿区			5	18	24	6			5	
文京			1	4	3	5				
台東			2	15	19	5	4	1	4	
墨田区			2	5	14	8		2	4	
江東区			1	20	67	20	4	3	4	
品川区	1		3	7	34	12	1	4	2	
目黒区			4	5	6	3		3		
大田区			18	25	64	16		4	5	
世田谷			1	30	58	14	5	16	9	
渋谷区			2	4	18	5		4	2	
中野区	1			21	28	14	2	2	1	
杉並			30	11	76	9		2	3	
池袋			1	3	18				3	
北区	1		12	4	19	13	2	1	6	
荒川区			12	4	14	5		2	2	
板橋区				3	12	4		1		
練馬区			7	10	26	13	9	2	3	
足立			1	6	58	11	6	1	4	
葛飾区			1	5	18	8	3	2	4	
江戸川			11	25	58	17		3	11	
西多摩			5	4	17	9		9	3	
八王子			3	33	70	46	7	3	7	
南多摩		1	10	12	22	7	2	8	2	
町田	1	2		24	77	19	1	6	7	
多摩立川				4	18	10		1	1	
多摩府中			1	16	27	11	2	5	4	
多摩小平		1	10	28	58	4	2	5	8	
島しょ					1				1	

東京都合計	5	4	148	376	980	312	52	100	111	-
定点当り報告数	0.03	0.01	1.00	2.54	6.62	2.11	0.35	0.68	0.75	-

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									7
中央区						2			17
みなと			1	2			3		112
新宿区		6	1					2	67
文京						3			16
台東		2	1						53
墨田区			1	3	1		1		41
江東区		5		2			3		129
品川区		1		3			1		69
目黒区						5			26
大田区		3		3					138
世田谷		1		6			1		141
渋谷区						1			36
中野区				4		1			74
杉並				2					133
池袋		3	2	5					35
北区			1	4					63
荒川区									39
板橋区									20
練馬区		1	1			4			76
足立			3	1			4		95
葛飾区		1	1	5	1		1		50
江戸川		4	1	5		1			136
西多摩		2		1		1	1		52
八王子		2		2			1		174
南多摩		4	1						69
町田		12	2	2			1		154
多摩立川			1						35
多摩府中		7		6					79
多摩小平	1	16		2		6	1		142
島しょ				1					3

東京都合計	1	70	17	59	2	24	18	2	2,281
定点当り報告数	0.01	0.47	0.11	0.40	0.05	0.63	0.12	0.01	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年24週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					0.50	1.00			0.25	
中央区				1.00	1.67	2.00		0.33		
みなと	0.17		0.83	4.50	8.17	1.33	0.33	1.50	0.83	
新宿区			0.83	3.00	4.00	1.00			0.83	
文京			0.33	1.33	1.00	1.67				
台東			0.67	5.00	6.33	1.67	1.33	0.33	1.33	
墨田区			0.67	1.67	4.67	2.67		0.67	1.33	
江東区			0.25	5.00	16.75	5.00	1.00	0.75	1.00	
品川区	0.17		0.50	1.17	5.67	2.00	0.17	0.67	0.33	
目黒区			1.33	1.67	2.00	1.00		1.00		
大田区			2.00	2.78	7.11	1.78		0.44	0.56	
世田谷			0.13	3.75	7.25	1.75	0.63	2.00	1.13	
渋谷区			0.50	1.00	4.50	1.25		1.00	0.50	
中野区	0.17			3.50	4.67	2.33	0.33	0.33	0.17	
杉並			5.00	1.83	12.67	1.50		0.33	0.50	
池袋			0.25	0.75	4.50				0.75	
北区	0.25		3.00	1.00	4.75	3.25	0.50	0.25	1.50	
荒川区			6.00	2.00	7.00	2.50		1.00	1.00	
板橋区				0.50	2.00	0.67		0.17		
練馬区			1.40	2.00	5.20	2.60	1.80	0.40	0.60	
足立			0.20	1.20	11.60	2.20	1.20	0.20	0.80	
葛飾区			0.25	1.25	4.50	2.00	0.75	0.50	1.00	
江戸川			2.20	5.00	11.60	3.40		0.60	2.20	
西多摩			1.00	0.80	3.40	1.80		1.80	0.60	
八王子			0.75	8.25	17.50	11.50	1.75	0.75	1.75	
南多摩		0.11	2.50	3.00	5.50	1.75	0.50	2.00	0.50	
町田	0.25	0.22		6.00	19.25	4.75	0.25	1.50	1.75	
多摩立川				0.80	3.60	2.00		0.20	0.20	
多摩府中			0.10	1.60	2.70	1.10	0.20	0.50	0.40	
多摩小平		0.07	1.67	4.67	9.67	0.67	0.33	0.83	1.33	
島しょ					1.00				1.00	

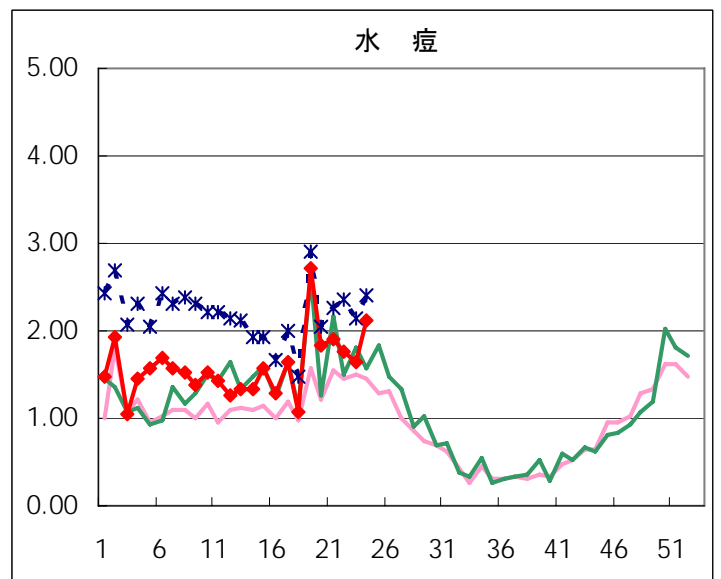
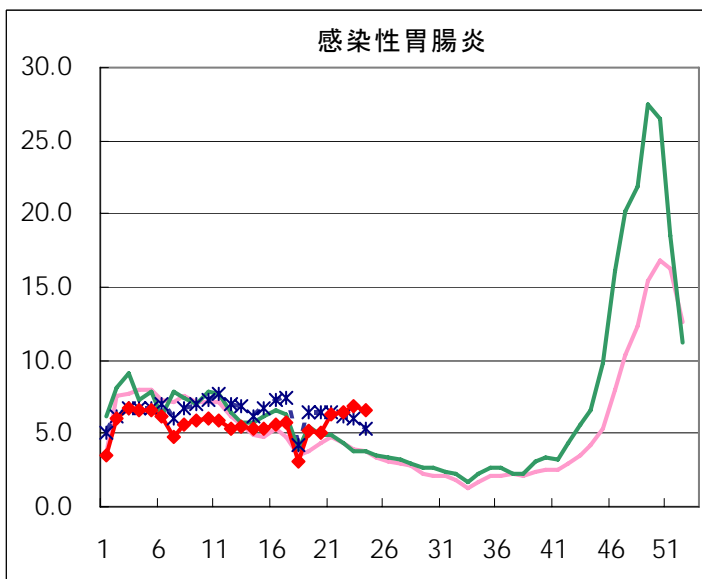
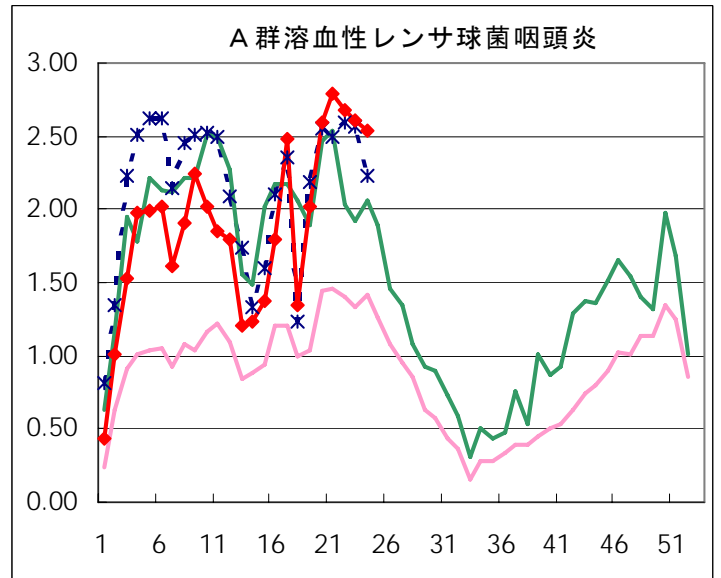
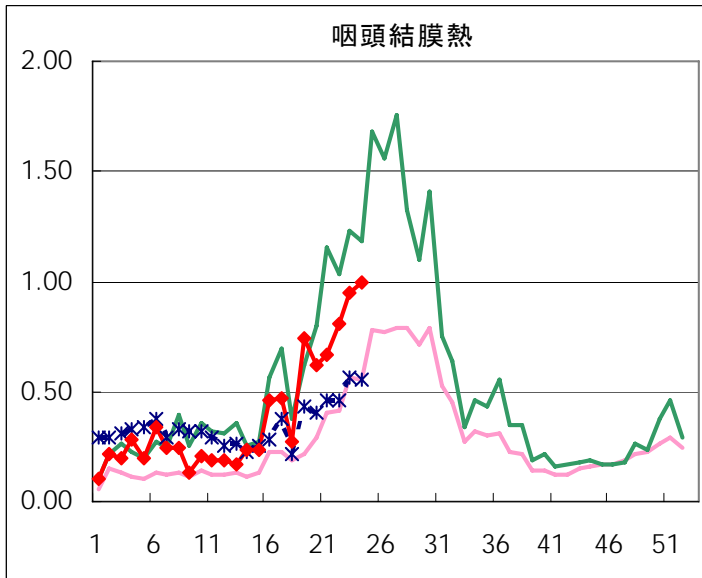
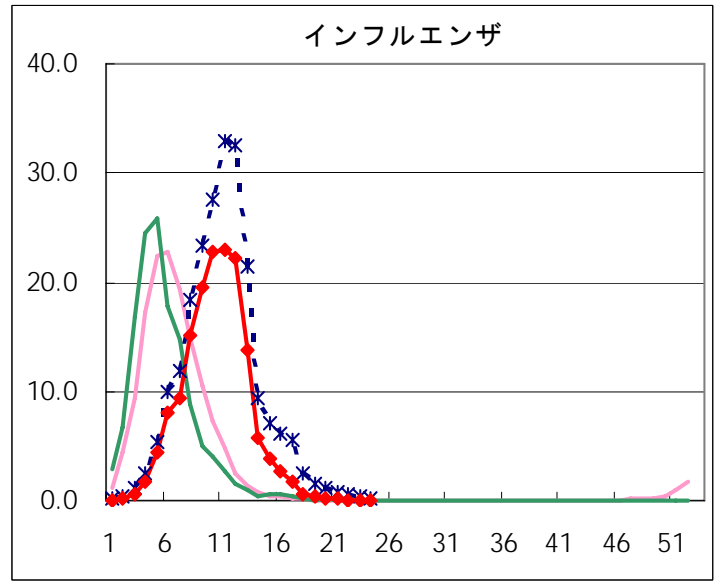
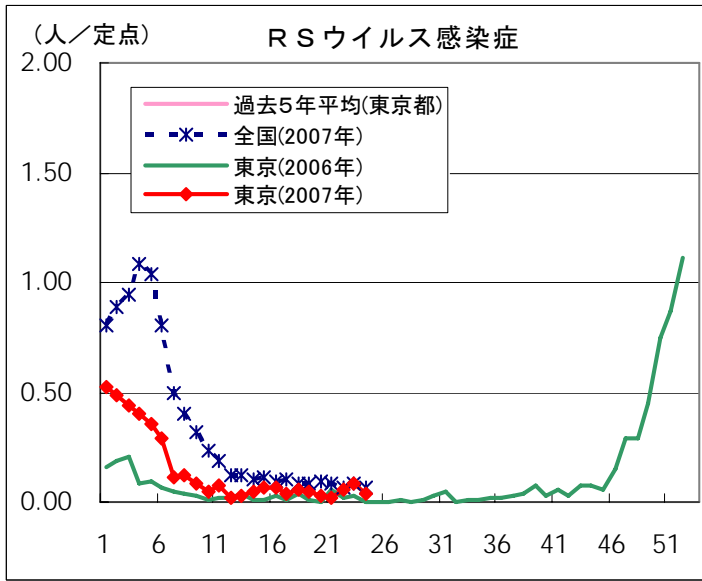
東京都合計	5	4	148	376	980	312	52	100	111	-
定点当り報告数	0.03	0.01	1.00	2.54	6.62	2.11	0.35	0.68	0.75	-

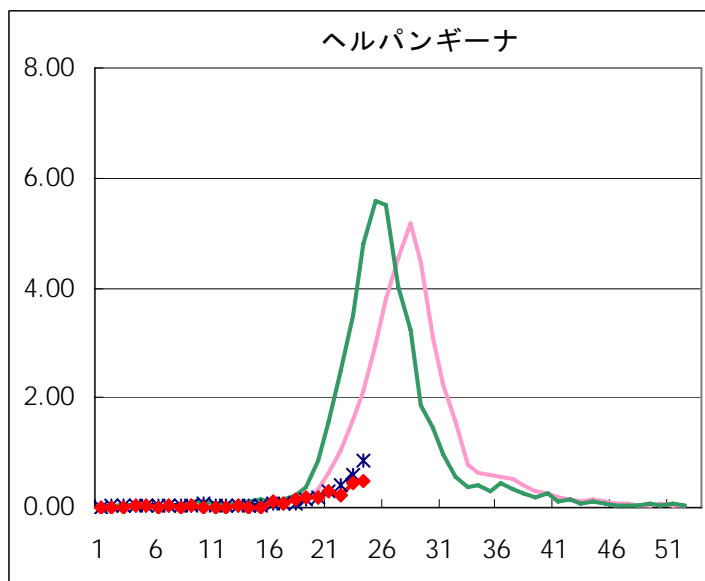
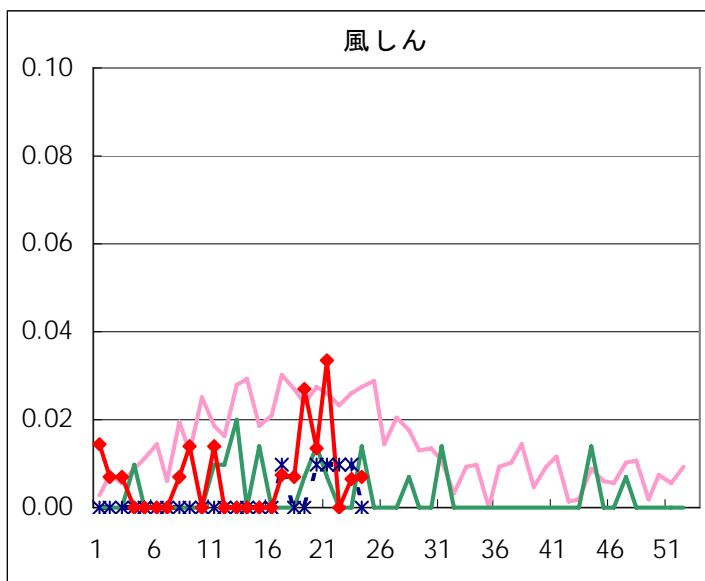
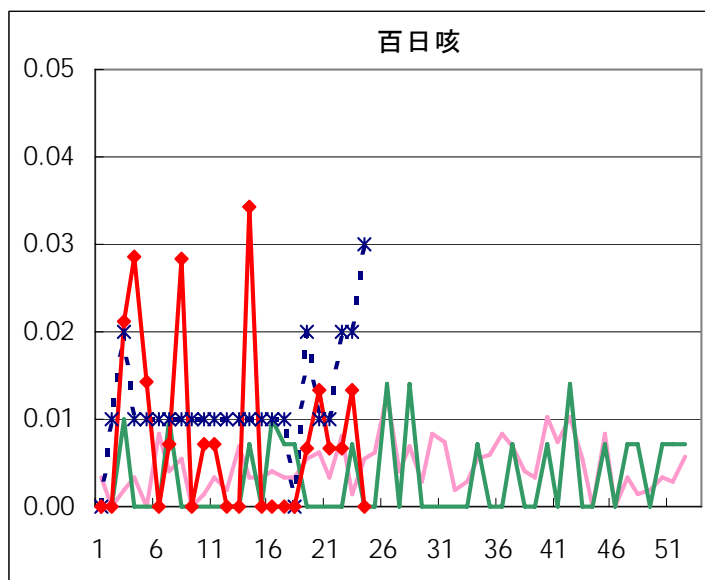
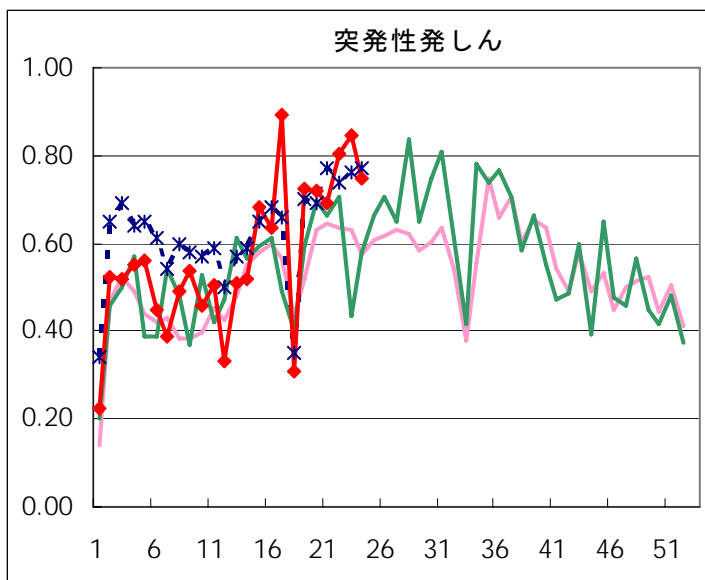
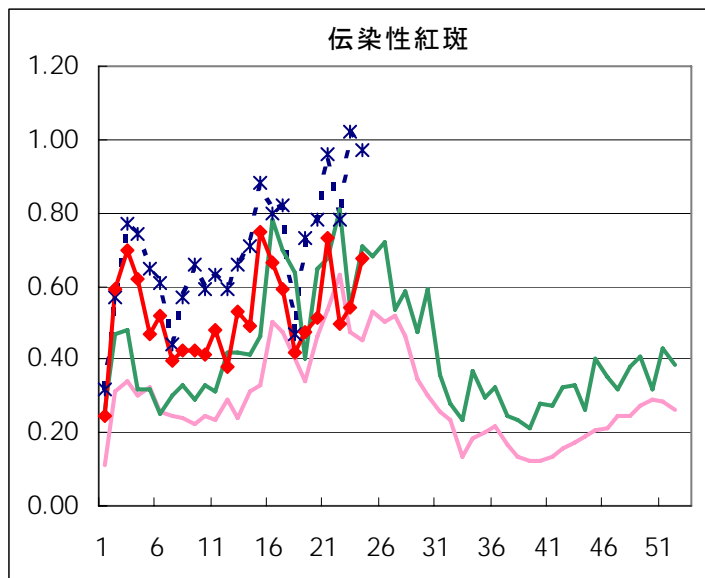
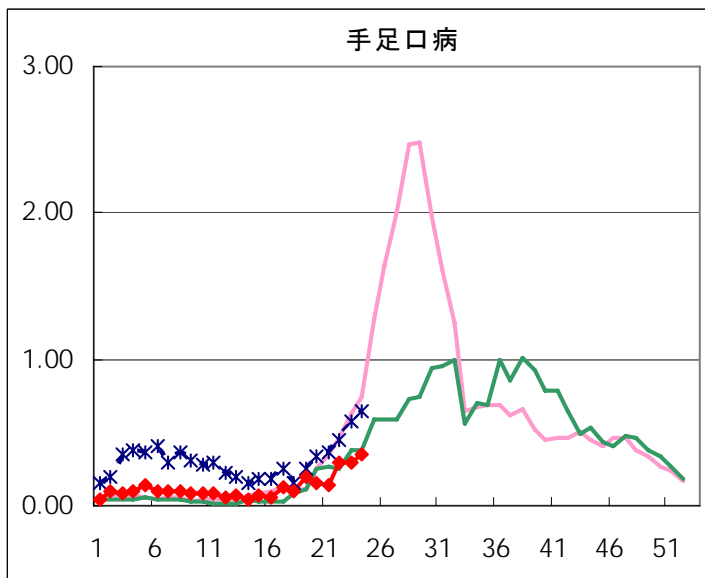
	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区						2.00		
みなと			0.17	0.33			0.50	
新宿区		1.00	0.17					0.33
文京						3.00		
台東		0.67	0.33					
墨田区			0.33	1.00	1.00		0.33	
江東区		1.25		0.50			0.75	
品川区		0.17		0.50			0.17	
目黒区						5.00		
大田区		0.33		0.33				
世田谷		0.13		0.75			0.13	
渋谷区						1.00		
中野区				0.67		1.00		
杉並				0.33				
池袋		0.75	0.50	1.25				
北区			0.25	1.00				
荒川区								
板橋区								
練馬区		0.20	0.20			2.00		
足立			0.60	0.20			0.80	
葛飾区		0.25	0.25	1.25	1.00		0.25	
江戸川		0.80	0.20	1.00		0.50		
西多摩		0.40		0.20		1.00	0.20	
八王子		0.50		0.50			0.25	
南多摩		1.00	0.25					
町田		3.00	0.50	0.50			0.25	
多摩立川			0.20					
多摩府中		0.70		0.60				
多摩小平	0.17	2.67		0.33		3.00	0.17	
島しょ				1.00				

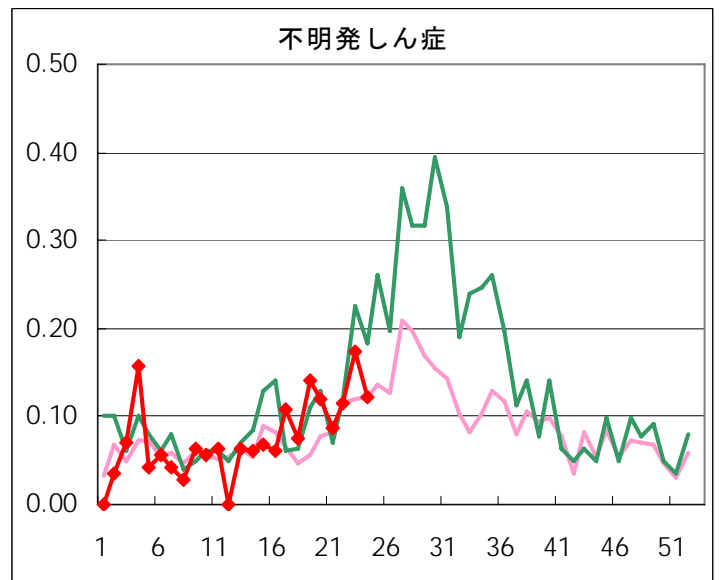
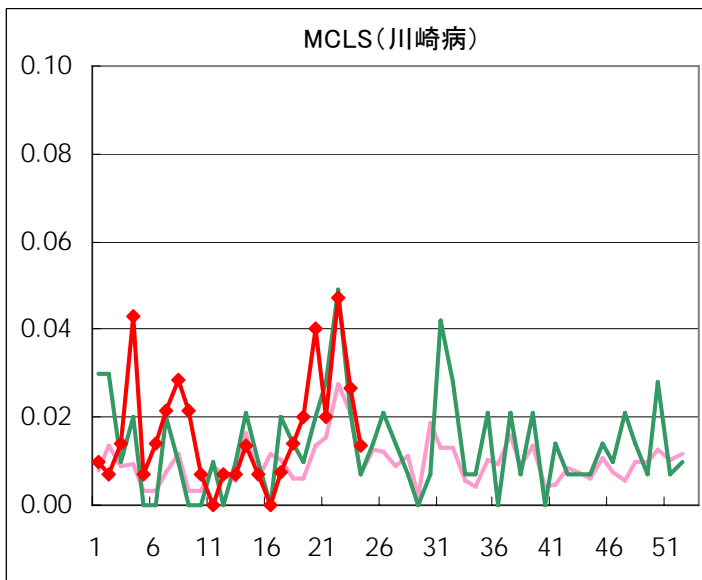
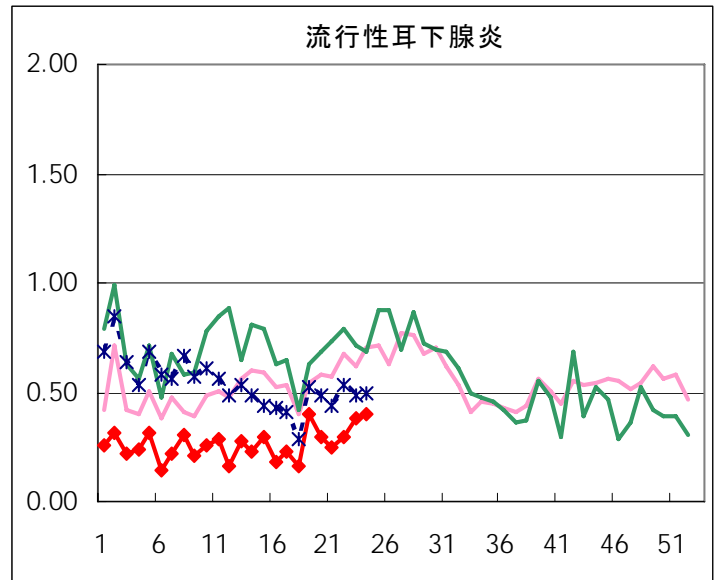
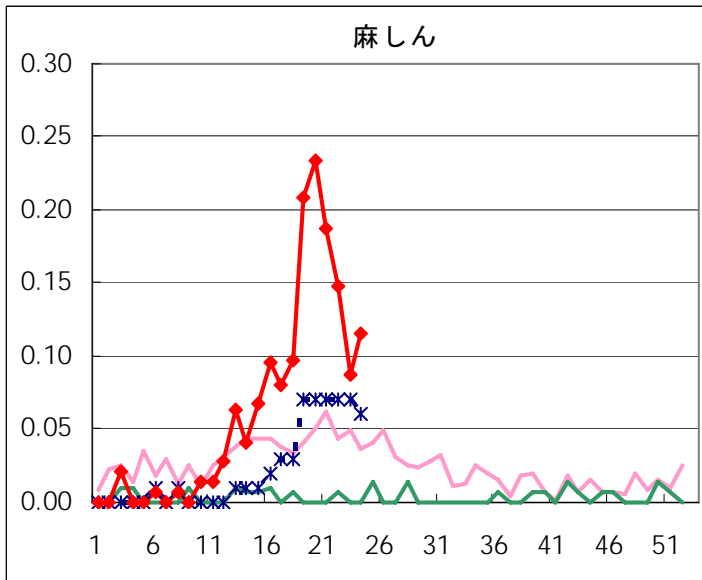
東京都合計	1	70	17	59	2	24	18	2
定点当り報告数	0.01	0.47	0.11	0.40	0.05	0.63	0.12	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2007年24週現在

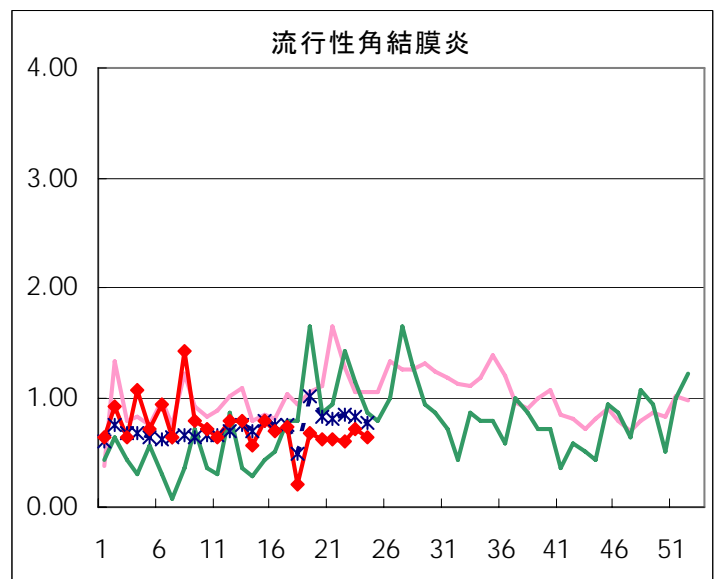
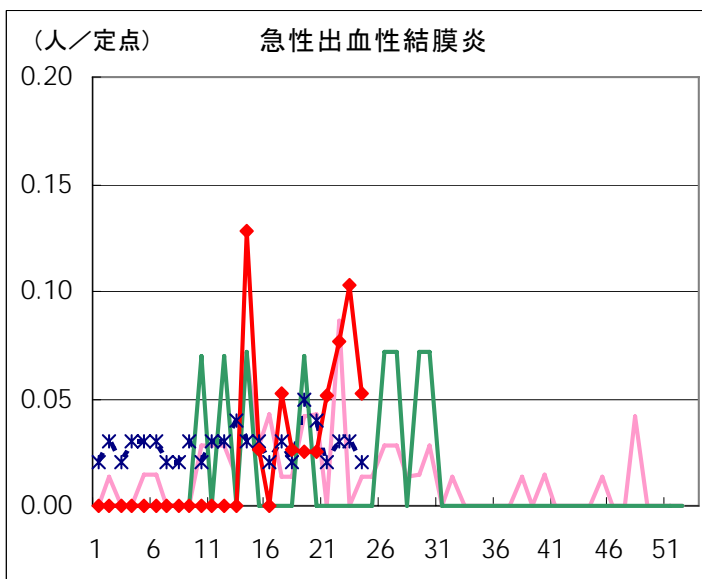
◆ 小児科・インフルエンザ定点



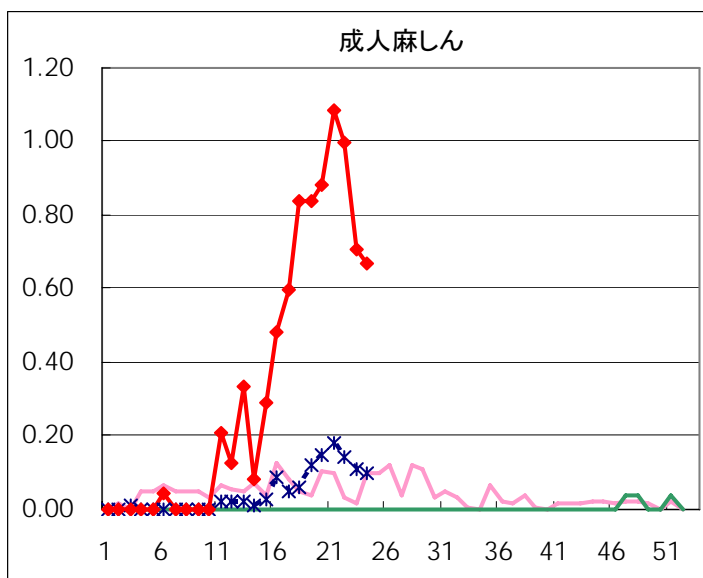
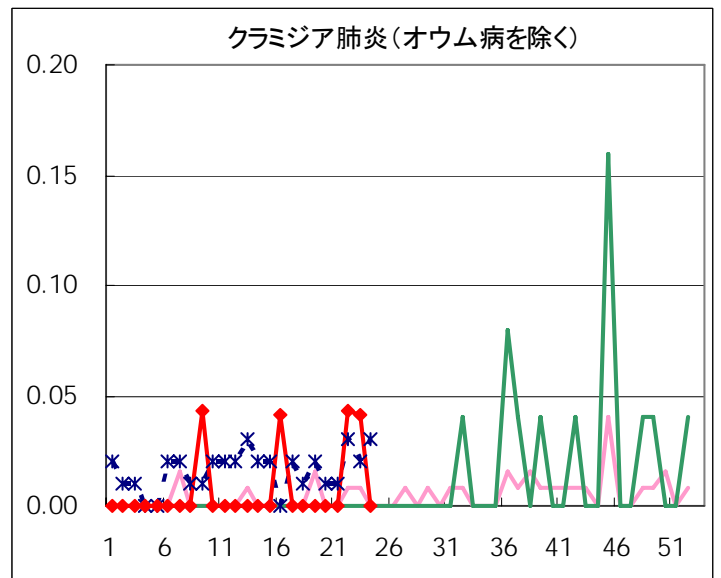
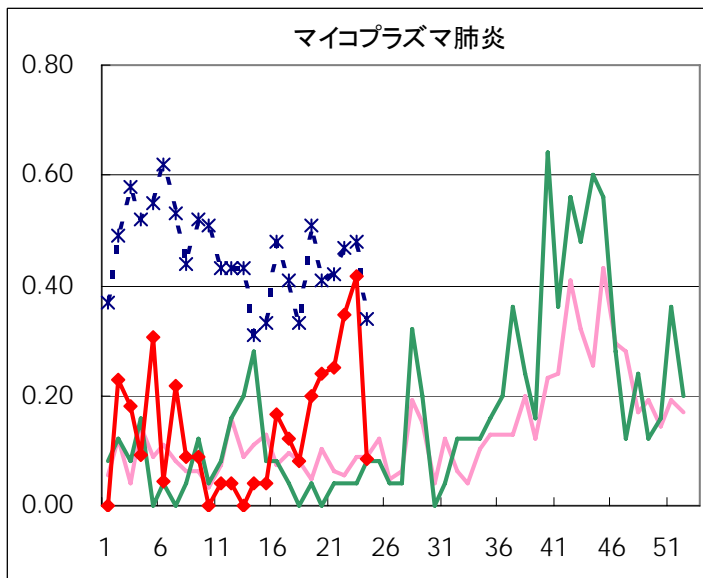
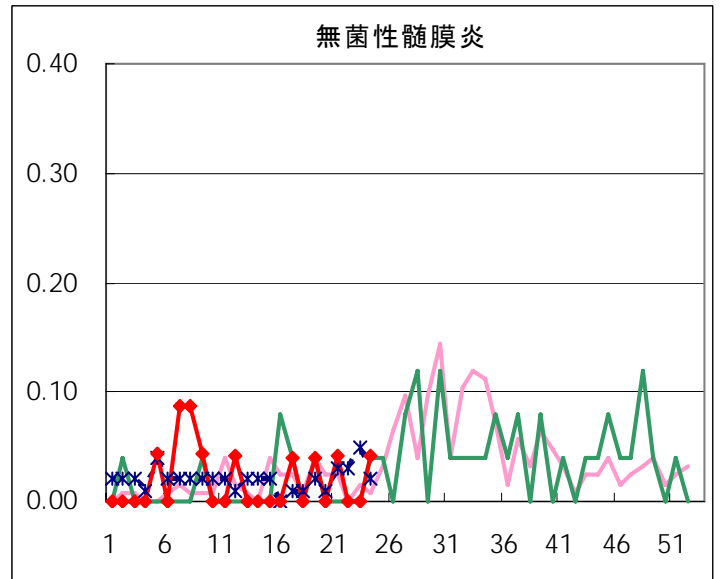
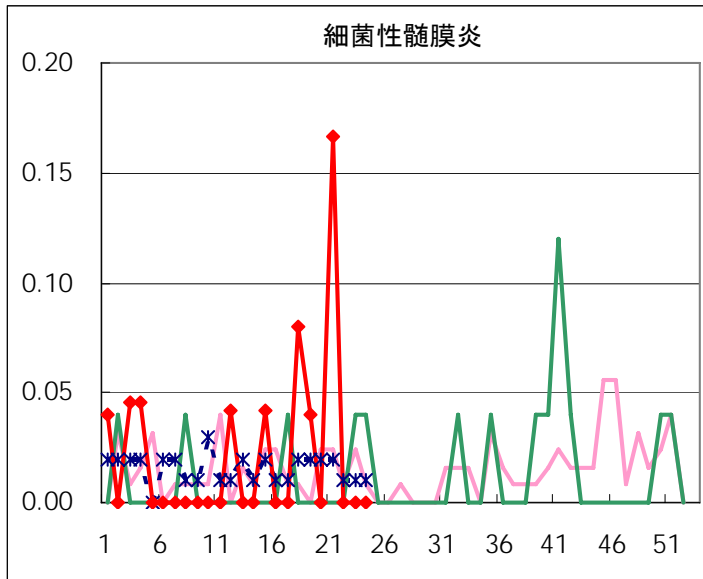




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	290	286
眼科	急性出血性結膜炎	39	38
	流行性角結膜炎		
基幹	細菌性髄膜炎	25	24
	無菌性髄膜炎		
	マイコプラズマ肺炎		
	クラミジア肺炎		
	成人麻疹		
小児科	上記を除く疾病	150	148

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
4/28	流行性角結膜炎	66	結膜拭い液	アデノウイルス37型	分離
5/29	流行性角結膜炎	28	結膜拭い液	アデノウイルス	遺伝子
5/31	インフルエンザ、 間質性肺炎	7	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型、 アデノウイルス	
5/31	麻しん	25	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/31	麻しん脳炎	21	髄液	麻しんウイルス	
6/1	急性咽頭炎	2	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
6/1	頸部リンパ節炎	2	咽頭拭い液	EBウイルス	
6/1	中毒疹、麻しん	18	咽頭拭い液	麻しんウイルス	
6/1	麻しん疑い	9	咽頭拭い液	麻しんウイルス	
6/2	ウイルス性発しん症	22	咽頭拭い液	EBウイルス、 ヒトメタニューモウイルス	
6/2	急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
6/2	不明熱	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、 麻しんウイルス	
6/4	手足口病	6	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、 ヒトヘルペスウイルス7型、 アデノウイルス	
6/4	不明発しん症	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
6/4	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
6/4	麻しん	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、 麻しんウイルス	
6/5	インフルエンザ	33	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
6/5	急性胃腸炎	8M	糞便	エンテロウイルス	
6/5	急性気管支炎	8	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス	
6/5	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス	
6/5	急性肺炎	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、 麻しんウイルス	
6/5	熱性けいれん、 上気道炎	10M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
6/5	肺炎	6	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス、 アデノウイルス	
6/5	麻しん疑い	18	咽頭拭い液	麻しんウイルス	
6/6	伝染性紅斑	4	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
6/7	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス	
6/7	急性気管支炎	11M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス、 ヒトメタニューモウイルス	
6/7	流行性耳下腺炎	3	咽頭拭い液	EBウイルス	
記載無し	EBウイルス感染症	3	咽頭拭い液	EBウイルス	

週別検査状況 2007年15週～23週

検出病原体・抗体		2007年								合計
		15	16	17・18	19	20	21	22	23	
ウイルス	アデノ		1	2	4	15	4		6	32
	ライノ	2	1	5	3	4	2	4	1	22
	ポリオ									
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71			1						1
	その他のエンテロ	2	2	1	2	6	4	2	1	20
	単純ヘルペス									
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7	2	3	10	5	7	4	4	6	41
	EB		1	4		1	4	6	4	20
	サイトメガロ		1	2		2		1		6
	ムンプス				1		1			2
	麻疹	1	1	1	5	11	4	5	7	35
	風しん									
	パルボB19	3				1			1	5
	RS					1				1
	ノロ				1	2				3
	ロタ		1	2			2			5
	インフルエンザAH1	2		1					1	4
	インフルエンザAH3	6	10	2		1			1	20
	インフルエンザB	6	1	6	2					15
デング										
その他のウイルス							5	9	14	
細菌	カンピロバクター									
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌	1								1
	溶血性レンサ球菌		8					5		13
	その他の細菌		1							1
その他の病原体				1				2		3

臨床診断名別検査結果 2007年15週～23週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	76	29	28	37	31		7	9	2	2	6	32	5	4	26	2	93	
アデノ	1	2	5	1				4		1		5			3		10	32
ライノ	1	4	5	1	1							3	1		1		5	22
ポリオ																		
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71										1								1
その他のエンテロ	1	1	3	7				1				1	1			1	4	20
単純ヘルペス																		
水痘・带状疱疹しん																		
ヘルペス6/7	1	2	2		7					2		10			2		15	41
EB		2	1									3	4		1	1	8	20
サイトメガロ			1		2												3	6
ムンプス					1								1					2
麻しん			1		1							4		1	22		6	35
風しん																		
パルボB19											5							5
RS			1															1
ノロ				3														3
ロタ				5														5
インフルエンザAH1	4																	4
インフルエンザAH3	20																	20
インフルエンザB	15																	15
デング																		
その他のウイルス		4	9									1						14
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌				1														1
溶血性レンサ球菌		5				7											1	13
その他の細菌																		
その他の病原体		1	2														1	4
備考																		

<感染症豆知識>

「ジアルジア症」

ジアルジア症は、ランブルベン毛虫とも呼ばれる原虫ジアルジアの感染によって起こる。主症状は下痢であるが、不顕性感染も多い。感染症法では、五類全数把握疾患に位置づけられている。平成11年以降の届出患者数は、全国集計値で42例から137例の範囲であり、年平均で90件ほどである。感染経路は、6割以上が海外での感染となっている。平成18年の1年間に報告された44例について、その感染地域を整理すると、国内が17例（39%）であり、インド8例、ネパール2例をはじめ、バングラデシュ、カンボジア、マーシャル諸島などの海外感染例が61%を占めている。

感染源の一つに飲料水がある。ある調査事例をみると、ネパール市街地の給水栓水からのジアルジア検出率は、6割に達するという報告もあり、汚染地域を訪れる際は、飲料水に対する注意が必要である。一方、日本における平成9年以降の調査結果をみると、ろ過処理工程がない簡易水道や、ろ過が不十分な水道施設の浄水からジアルジアが検出された例が、少なくとも5例報告されている。ジアルジアやクリプトスポリジウム原虫は、塩素処理に対して抵抗性が強いので、ろ過処理が重要である。幸い、わが国では、これまでのところ水道水を介したと確定されたジアルジア症は報告されていない。

もう一つの感染経路としては、同性愛者間などにみられる性感染症がある。HIV感染者から原虫が検出された事例もあることから注意を要する。

（文責：東京都健康安全研究センター微生物部長 矢野一好）